

Nsports

本校で行うスポーツ活動全般を「Nsports」と呼び、 様々なスポーツにトライしています。



自分に合ったプログラムで活動できる、個性をなかせる体育授業。様々なスポーツを学び、経験喜びを実したで、楽しさつなまとで、楽しさつなおを実とを応援する。これがある、ルの1つです。



情 操 教 育

芸術、ダンスなど様々な学習を通して 豊かな感性を養う。



豊かな感受性を養い、充実した生活を送る目的で芸術(音楽・美術)などの授業を行います。校舎3階ワンフロアすべてが情操教育に対応した特別教室を設置しています。自分の興味関心を最大限に生かせる空間として、授業だけでなく休み時間等も利用できます。

屋内走路(NARS(ナース))国内最大級の



室内走路

150M×4コース

天候を気にすることな く本格的な陸上トレー ニングができます。

寄宿舎







舎室(2人部屋)

合わせた指導および道徳

	単位数	
各教科別の 指導	保健体育	8
	数 学	1
	英 語	1
	情 報	1
教科等を合わせた指導	作業学習	8
	自立学習	4
	芸 術	2
	日常生活の指導	5
領域別の 学習	自立活動	1
	特別活動	1
総合的	1	
1	33	

自立学習:国語や理科、社会等の教科を合わせて行う 芸 術:音楽と美術を合わせて行う 作業学習:職業と家庭科を合わせて行う 日常生活の指導:SHR、更衣、給食準備・片付け 道徳は全教育活動を通して、適切に実施する

本校は、学校教育方施行規 則130条2による各教科等 を合わせた教育課程を編成 しています。

学費について

入学時手続金	入	学	金	150,000⊞
	施設	整備負	担金	150,000円
学 費 (月額)	授	業	料	33,000ฅ
	給	食	費	10,500⊞
字句企典四/日拓》	寮		費	30,000⊞
寄宿舎費用(月額)	食		費	31,000用

※その他諸経費として、年間約30,000円を予定しています。 ※2年次・3年次准級時に、施設整備負担金50,000円を納入していただきます。

学費をはじめ、生活費や自宅への帰省費など、様々な面の金銭的負担が軽減または補助される制度があります。

詳しくは本校までお気軽にご相談、お問い合せください。

【授業料等の負担軽減】

国の就学支援制度・北海道の私立学校授業料軽減制度

一定の収入額未満の生徒の世帯に対して、授業料等に充てる支援金を国及び北海道 が支給し、家庭での教育費負担を軽減する制度です。返済は不要です。

就学奨励費

障がいのある生徒の教育関係経費について、世帯総所得により、保護者の負担を補助する仕組みです。支給は保護者の申請に基づき行われます。

網走市からの入学支援補助金

北海道網走市のまちづくり事業として、本校保護者の入学時の経済的負担を軽減するため、入学確定後に入学金の150,000円を支給する制度です。

学校法人 日本体育大学

]本体育大学附属高等支援学校

Educational Foundation of Nippon Sport Science University Group 〒093-0045 北海道網走市大曲1丁目6番地1号

TEL: 0152-67-9141 FAX: 0152-67-9142 E-mail fuzoku.info@s-nittai.ed.jp



http://s-nittai.ed.jp 日体大附属 検索



Facebook に アクセス



生徒の育成

~生きる力を培う3つの柱~

スポーツ·労作·情操の3つの柱で、基本的な生活習慣を 身に付けた生徒を育成します。

スポーツ教育

体育、部活動を通して、たくましい体、 健やかな心を育む。

週8時間(年間280時間)保健体育 の授業を行います。

全生徒が器械体操や球技、武道などを学び、体力や健康、ルールとマナーを守る姿勢を身に付けます。また、専門的な技術の習得や陸上、卓球、水泳、柔道、剣道の各競技の高体連大会での活躍を目指し、Nスポーツタイムの授業を行って



います。スポーツ施設も充実しており、2つある体育館には柔道場やトレーニング機器を完備し、屋外グラウンドをはじめ、国内で2例目となるオールシーズン対応の150m直線走路があります。

労 作 教 育 作業実習、就労実習を通して 働くことの楽しさ、尊さを培う。



週8時間(年間280時間)作業学習(農業・園芸・木工・環境サービス・受注・陶芸等)の授業を行います。この授業では卒業後の社会自立することを目指し、様々な体験的学習活動を通して得意なことを伸ばし、不得意なことを克服することで、自信へとつなげることを目的としています。

校舎紹介























主な進学先

- ・オホーツク社会福祉専門学校
- · 釧路高等技術専門学院
- ・札幌スポーツ&メディカル専門学校
- ・北海道ハイテクノロジー専門学校
- ・横浜リゾート&スポーツ専門学校
- · 北見高等技術専門学院
- ·釧路理容美容専門学校 ・北海道エコ・動物自然専門学校
- ・東京リゾート&スポーツ専門学校
- ・北海道はまなす食品能力開発センター



主な就職先

- 一般就労【自動車】有限会社北光興産・株式会社佐野自動車工業・リア・ジャバン・オペレーションズ・株式会社ライズコーポレーション 北見コウベ電池株式会社
 - 掃】北海道コカ・コーラボトリング株式会社・有限会社道環・株式会社寝屋川興業・共立管財株式会社・日本体育大学・エクサート
 - 食】株式会社 LEOC・株式会社ちから カレーのちから・アモールムツミ・ハートステーション
 - 【建築·建設】東急建設株式会社・株式会社二階堂・髙橋建設株式会社・大和谷工業株式会社・株式会社大江建設工業
 - 造】網走ビール株式会社・北見木材株式会社・長谷製菓株式会社・パーソルサンクス夢工房
 - 工】(水産・農産物) 同和食品株式会社・北見食品工業株式会社・株式会社北海永徳・株式会社ウエニシ
 - 【公 務 員】自衛隊・札幌国税局
 - 【農業·酪農】柳瀬産商株式会社・株式会社ウエダファーム・株式会社カネダイ大橋牧場
 - 【その他】株式会社八洋(自動販売機)・株式会社SOU(警備員)・株式会社北海道健誠社(クリーニング)・エリクソン・ジャパン株式会社(生産) 鶴雅リゾート株式会社(ホテル)・小清水赤十字病院(看護助手)・アート引越センター株式会社(引越し) 特別養護老人ホームはまゆう(介護)・株式会社日比谷花壇(庭園)・インター警備保障有限会社(警備員)

福祉就労【移行支援】株式会社 C&C ウェルフェア・ジョブトレーニングセンターあらんじぇ・サンライズヨピト・ゆたかカレッジ NPO 法人ライズ・ピース第 II 新横浜・NPO 法人てくてく

【継続B型】 ワークセンターびぼろ・手をつなぐ育成会つむぎ・プレジール秋桜・多機能型事業所インカル・株式会社コスミック コスモス NPO 法人サラン・エゾモモンガ・堺自立支援センターユニオン・アットホーム パン工房リスどん・ふぁん力むず 愛らんどベーカリー



先輩からのメッセージ



5期生【瀧口琉永】

実家を離れての寄宿舎生活により、朝早く起きるようになりまし た。朝食の配膳を手伝うため、毎朝5時半に起きていました。卓球部 も3年間続けることができ、体力に自信がありませんでしたが、今は かなり体力がつきました。

卒業後は地元の病院で看護助手として働きます。1年生の時に入 院し、看護師さんに救われた経験から医療にかかわる仕事につきた いと思うようになりました。先生に相談したところ、地元の病院を紹 介してもらい、職場実習として2年生で2週間、3年生で3週間、看護 助手の仕事を体験しました。実習期間中に僕は看護助手の仕事に向 いているなと思うことができました。卒業後は患者さんの気持ちに 寄り添って仕事を続けたいと思っています。



5期生【中村貴斗】

小学1年から柔道を始め、柔道部に入りました。実家を離れて寄宿 舎に入り、仲間と一緒に毎日、部活動に打ち込める環境は自分に合っ ていたと思います。子どものころから、木などを使ってモノを作るこ とが好きでした。先生に進路の相談をしたところ、実家近くの建築土 木関係の会社を紹介され、2年生と3年生の時に職場実習を経験す ることができました。授業で農業や木工など、実際の仕事に近い作業 の実習があり、与えられた作業を戸惑うことなくできました。

会社では仕事について親切に教えてもらい、自分にもその仕事がで きそうだなと思えるようになりました。実際に会社が工事で扱うガス 管や水道管を見ることもでき、より仕事に興味がわきました。会社の 雰囲気もとても良くて「ここなら安心して働ける」と感じました。

卒業後は、職場実習先の建築土木関係の会社に就職します。社長の 紹介で、他社の柔道部に入部できることになりました。仕事をしなが ら柔道を続けることができるのでどちらも頑張ります。







生徒一人ひとりの 「やりたいこと」を実現する

フィールド学習は北海道の大自然が教材 本校の学習カリキュラムで行っている自立学習や総合的な探究の 時間に机上で学習した内容を元に、実際に目で見て、肌で感じる学

習を月に1~2回程度実施しています。本校所有のマイクロバスを 使用し、北海道オホーツクの大地を駆け回ります。世界遺産『知床』 をはじめ、大自然を満喫できる壮大なスケールの学習活動です。



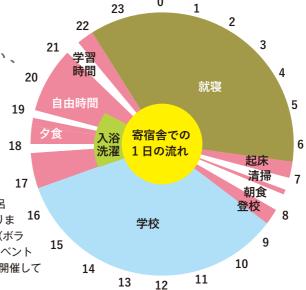
生徒の1日

共同生活を通じて、

コミュニケーション能力を養い 社会参加するための基礎を 身につけます。

寄宿舎は校舎と併設してるため、安全に登下校を行 うことができます。また、下校時に負担がないこと から、勉強や部活動にも集中しやすいでしょう。指導 員が常に控えており、万全のサポート体制を敷いて います。

寄宿舎では、学校生活や部活動での疲れを大きなお風呂 で癒し、広いラウンジで学年問わず交流を深めておりま 16 す。また土・日・祝ともに開舎しており、様々な地域行事(ボラ ンティア、祭り、スポーツ観戦)や生徒自ら企画したイベント (バーベキュー、菓子パン作り、将棋大会、花火大会)を開催して 日々楽しく過ごしています。







生徒の一年 主な行事

自然に恵まれた 地の利を利用して 心躍る体験を作り出し、 豊かな人間性を育みます。



高体連集約大会(5月)





(4月)



修学旅行(11月)



スキー学習(2月) 卒業式(3月